

市区町村における子育て家庭への支援の充実（1. ②関係）

- 要支援・要保護児童（※1）は約23万人、特定妊婦（※2）は約0.8万人とされる中、支援の充実が求められている。
※1 保護者への養育支援が特に必要、保護者による監護が不適当な児童 ※2 出産前において出産後の養育支援が必要な妊婦
- 地域子ども・子育て支援事業において、訪問型支援、通所型支援、短期入所支援の種類・量・質の充実を図るとともに、親子関係の構築に向けた支援を行う。
- 市区町村において計画的整備を行い、特に、支援が必要な者に対しては市区町村が利用勧奨・措置を実施する。

子育て世帯訪問支援事業（訪問による生活の支援）

- 要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等を対象（支援を要するヤングケアラー含む）
- 訪問し、子育てに関する情報の提供、家事・養育に関する援助等を行う。
例）調理、掃除等の家事、子どもの送迎、子育ての助言 等

児童育成支援拠点事業（学校や家以外の子どもの居場所支援）

- 養育環境等の課題（虐待リスクが高い、不登校等）を抱える主に学齢期の児童を対象
- 児童の居場所となる拠点を開設し、児童に生活の場を与えると同時に児童や保護者への相談等を行う
例）居場所の提供、食事の提供、生活リズム・メンタルの調整、学習支援、関係機関との調整 等

親子関係形成支援事業（親子関係の構築に向けた支援）

- 要支援児童、要保護児童及びその保護者、特定妊婦等を対象
- 親子間の適切な関係性の構築を目的とし、子どもの発達状況等に応じた支援を行う。
例）講義・グループワーク・ロールプレイ等の手法で子どもとの関わり方等を学ぶ（ペアレントトレーニング） 等

子育て短期支援事業

- 保護者が子どもと共に入所・利用可能とする。子どもが自ら入所・利用を希望した場合の入所・利用を可とする。
- 専用居室・専任人員配置の推進、入所・利用日数の柔軟化（個別状況に応じた利用日数の設定を可とする）を進める。

一時預かり事業

- 子育て負担を軽減する目的（レスパイト利用など）での利用が可能である旨を明確化する。

地域子ども・子育て支援事業への位置づけ

- ✓ 市区町村の計画的整備
- ✓ 子ども・子育て交付金の充当

子育て関係団体 ヒアリング結果

- ・困っている人(保護者、子ども)を支援する人材の確保、育成に尽力
- ・**中高生の居場所がない**という保護者が多い。
- ・各地区にハードがあり、人が常に配置されている**地区会館を活用**しては？
- ・共助の力を生かす仕掛け、同世代の家族と関わる機会の提供

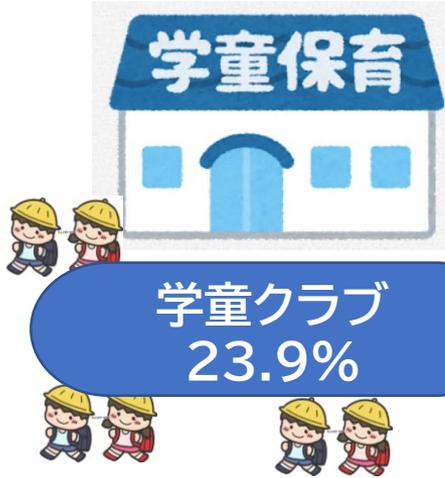
- ・**不都合なく家で過ごせてしまう時代**になり、この3～4年は表立ってやんちゃをする子はいない。表向きは落ち着いてみえるが、つながりを築くことが困難。
- ・経済的理由で学童に行けない子のために、**無料で通えるような場所**が必要。
- ・こどもの居場所(福祉)を支えていく人材の確保が必要。

- ・乳児、幼児期の居場所(親、子)は充実している。育児サークル、こそだて広場など
- ・**小中高生の居場所は不足**していると感じている。
- ・小学校区に児童センターや公園などが無い場合、送迎バスなどほしい。
- ・食事と勉強がセットで提供できるところが**身近に必要**だと思う。(地区会館など)

- ・社協としては児童センターを核に子どもの居場所について方向性を考えたい。
- ・児童センターの近くの子は来れるが、離れた地域の子は来れないため、**校区ごと同様の機能がある**ことが理想。
- ・今の体制では、発達障がいの子どもの対応が難しくなっている。人材育成が課題

小学生の放課後の過ごし方

～平成31年加賀市 子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書から～



小学生の放課後の過ごし方

～平成31年加賀市 子ども・子育て支援ニーズ調査 調査結果報告書から～

単位：%

過ごす場所別週当たり日数



区分	回答者数 (件)	1日	2日	3日	4日	5日	無回答
1. 自宅	881	7.5	10.2	14.8	9.4	52.4	5.7
2. 祖父母宅や友人・知人宅	318	28.9	22.6	10.7	5.0	29.2	3.5
3. 習い事	459	23.3	31.4	19.2	12.9	11.5	1.7
4. 児童センター	92	28.3	29.3	14.1	14.1	7.6	6.5
5. 放課後子ども教室	25	40.0	-	24.0	8.0	16.0	12.0
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)	298	3.4	6.4	8.7	9.7	68.8	3.0
7. ファミリー・サポート・センター	4	-	-	-	-	100.0	-
8. その他	24	29.2	33.3	20.8	4.2	8.3	4.2

データから1週間をイメージすると
次のような家庭が大半を占めているのでは・・・

月	火	水	木	金
自宅	習い事	祖父・友達宅	習い事	自宅



子どもの居場所づくり ～ステージごとサービス～

乳児・幼児

小1～3年生

小4～6年生

中学生

高校生

児童センター
(育児サークル)

子育てひろば

子育て支援センター

NPO法人かもママ
(ファミサポ・親子ほっ
とステーション)

保育園

学童クラブ

・ココラボ
(大聖寺)
・みかん
(山代)
・商業施設